



©Nathan Kou



©Sharek Youth Forum



諦めない気持ち
その先にある未来の平和へ

2024年度
年次報告書

ワールド・イン・ピースについて

日本では、若者や次の世代が社会課題の解決に積極的に取り組む機会がまだ少ないのが現状です。一方で、海外では高校生が自分たちで非営利団体を立ち上げ、行動を起こすことは決して珍しくありません。この違いの背景には、国際協力や人道支援の分野では専門性が特に重視されることがあると言えます。多くのNPOやNGOは、活動の多くが緊急性を伴うため、「すぐに動ける人材」が求められやすく、若い世代がスキルや経験を積むための丁寧なサポートが行き届きにくい状況があります。

ワールド・イン・ピースでは、団体の運営から人道支援活動に至るまで、すべての業務を若者が主体となって行うことを特徴としています。若い世代が早い段階から「国際協力」に取り組むことで、知識やスキルを磨き、将来的に即戦力として活躍できる人材を育成することを目指しています。そのため、従来の団体のように特定の社会課題に限定するのではなく、「世界平和」という大きな目標に向けて柔軟かつ多様な活動を展開しています。

VISION

*A planet where peace isn't just a dream
but a reality for everyone*

平和が当たり前の世界を実現する。

MISSION

*A world where respect and unity replace conflict,
building bridges instead of walls.*

対立ではなく、尊重と団結を通じて、壁ではなく、架け橋を築く世界。

団体名・ロゴに込めた思い

「World in Peace (WiP)」という団体名には、「世界が平和な状態であること」という願いが込められています。単なる一時的な支援ではなく、持続可能な平和を実現することを目指しています。「目の前の困難に対処するだけでなく、未来へと続く平和の基盤を築く」という私たちの理念が込められています。また、ワールド・イン・ピースを省略した時の「WiP」は“Work in Progress (進行中の仕事)”を連想させ、平和は一朝一夕で実現するものではなく、私たち一人ひとりの継続的な努力によって築かれるという考えを反映しています。

「WiP」のロゴは、流れるようなデザインで描かれ、迅速かつ柔軟な対応力を象徴しています。この形状は、困難な状況においても連携し、効果的に動く組織の姿勢を表現しています。ロゴカラー「ピースブルー」は、信頼や安定を意味し、国際協力・開発支援・人道支援・災害支援といった重要な分野で求められる冷静な判断力と専門性を象徴しています。この色には、平和を願い、困難な状況下でも冷静に行動するという私たちの使命が込められています。



代表者挨拶

2024年5月に設立したワールド・イン・ピースは、初めての事業年度を迎え、今年度報告書をお届けできることを嬉しく思います。この1年、世界では紛争や自然災害、人道危機が深刻化しました。ウクライナやパレスチナ・ガザ、南スーダン、アフガニスタンなど、さまざまな地域で人々が困難な状況に直面している現実を前に、私たちは「若者に何ができるか」を常に問い続けてきました。活動を進める中で、日本など世界の一部の国などでは若者が主体的に社会課題に取り組む場が限られていることに気づきました。ボランティアやインターンの機会はあっても、自ら事業を企画し実行できる環境は多くありません。そこで私たちは、若者の発想や情熱を活かし、自ら行動できるプラットフォームづくりを目指してきました。皆さまのご支援のもと、初年度は50万円以上のご寄付をいただき、6つの事業を立ち上げることができました。中には準備段階にとどまるものもありましたが、2025年には本格展開に向けて努力を続けてまいります。一方で、課題も明らかになりました。ミャンマー地震の発生時、緊急支援を望みながらも、資金や人手の不足により支援を断念せざるを得ませんでした。この経験は、団体としての限界を痛感するとともに、今後の重要な課題として受け止めています。これからも、より多くの人に支援を届け、若者が希望を持って社会に関わっていけるよう、挑戦を続けてまいります。引き続きのご支援・ご協力を、心よりお願い申し上げます。

ワールド・イン・ピース 代表兼統括責任者
Lu He Rikuto (Hibi) Hong
社会活動家、高校生

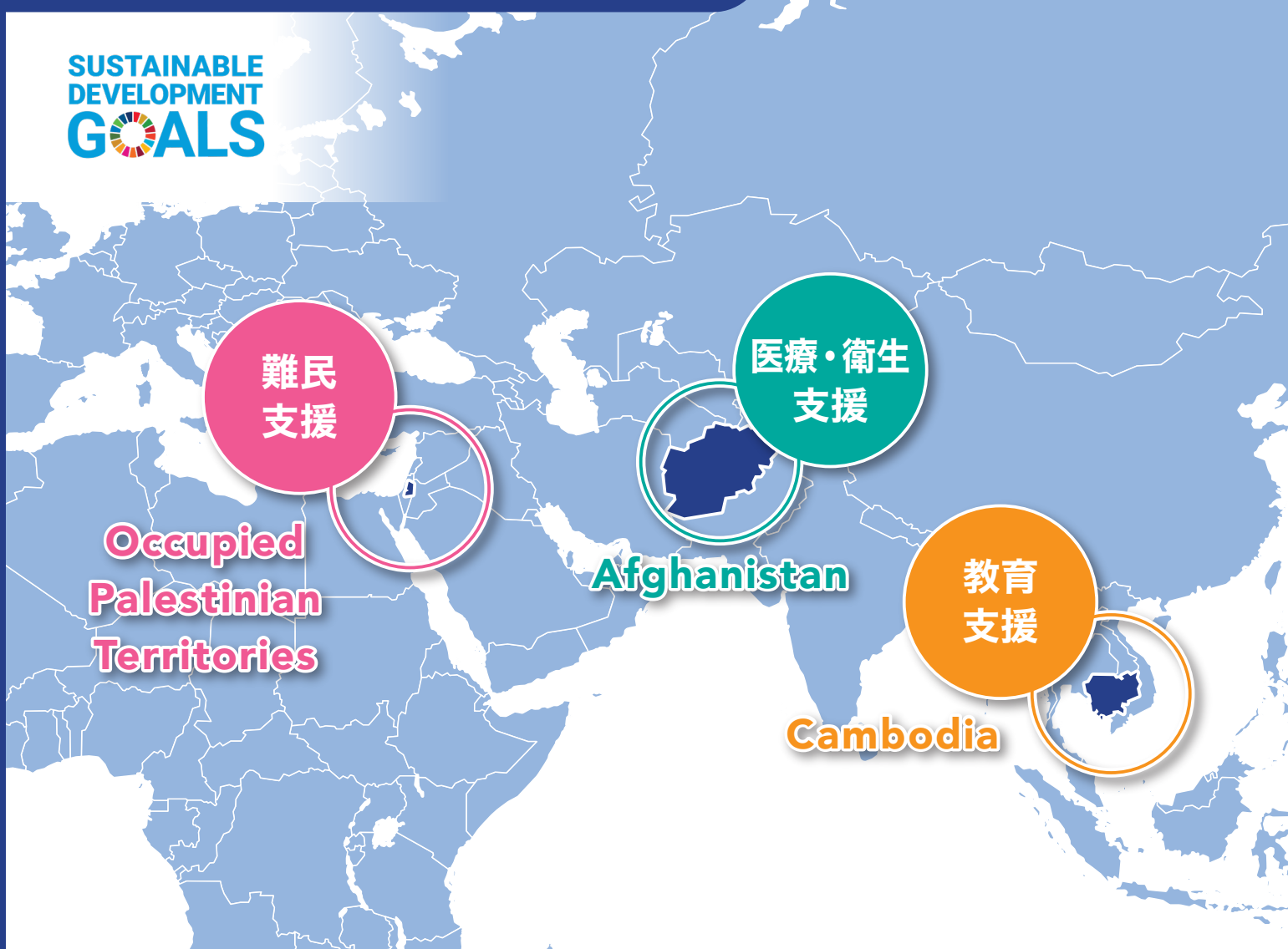


副代表挨拶

昨年5月、代表とともに設立した「ワールド・イン・ピース」は、おかげさまで一周年を迎えることができました。これもひとえに、日頃よりご支援いただいている皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。私たちは「若者の活躍」と「世界平和」を理念に掲げ、学生という立場から社会にどのように貢献できるかを模索しながら活動してきました。困難に直面することもありましたが、多くの方々の温かいご協力に支えられ、前進することができました。この一年で様々なプロジェクトを展開し、小さな変化ながらも着実な成果を上げてきたと感じています。特に私が設立前から個人的に関わっていたアフガニスタン・サラク村の公衆衛生プロジェクトは、団体としての活動へと拡大し、資金調達の機会も広がったことで、クリニック支援から学校トイレの修復・新設へと事業を発展させています。副代表として、またプロジェクト責任者として、その重責を日々感じながらも、財政面の課題にも向き合い、確実な成果を目指して尽力しています。今後とも、温かいご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ワールド・イン・ピース 副代表
岩城 友佳
高校生





医療・衛生支援

アフガニスタン・イスラム共和国
アフガニスタン公衆衛生向上事業

紛争や自然災害により人道危機が深刻化している当地域で、学校のトイレ整備や医療支援、衛生教育を推進。

2024/6/2 ▶ 継続中

受益者 0名*

支出額 0円*

1 NO POVERTY 3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING 4 QUALITY EDUCATION 6 CLEAN WATER AND SANITATION 10 REDUCED INEQUALITIES 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

難民支援

パレスチナ・ガザ地区
パレスチナ・ガザ地区人道支援

ガザ地区では、住民が食料や医薬品不足、感染症のリスクに直面。現地団体と協力し、ガザの子どもたちへの心理ケア・レクリエーション支援を開始予定。今後も資金の状況に応じて継続的な支援を行う計画。

2024/12/14 ▶ 継続中

受益者 0名*

支出額 0円*

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING 16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

教育支援

カンボジア王国
カンボジア学習支援

カンボジアの2つの地域で現地協力者と連携し、学習教材の配布や教室環境の改善を実施。簡素な学校でも教材支援を行い、クメール正月には子どもたちへ水鉄砲やお菓子のプレゼントを届けた。

2025/3/27

受益者 43名

支出額 103,496円

1 NO POVERTY 4 QUALITY EDUCATION 10 REDUCED INEQUALITIES

*本事業年度は、ニーズアセスメント・事業計画のみにとどまったため、事業未実施



コミュニティ支援・災害支援

石川県
石川県能登地方豪雨災害

奥能登地方では線状降水帯が発生し、道路の冠水や住宅の浸水、停電・断水が発生。体拭きや非常用トイレの物資支援を実施し、コミュニティ支援の一環としてワークショップなどにおけるお菓子や飲み物をいった備品・消耗品等を支援を実施。

2024/9/24 ▶ 継続中

受益者 284名

支出額 148,948円

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

災害支援

岩手県
岩手県大船渡市山火事

岩手県大船渡市で2月26日に発生した大規模な山林火災は、市域の9%にあたる2,900ヘクタールが消失。現地と連携し女性用アメニティやヘアブラシ、カミソリなどの物資支援を実施。

2025/3/2 ▶ 継続中

受益者 182名

支出額 18,245円

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

イベント・啓発活動

フェアトレード商品販売

2024年11月開催の国際フェアトレード商品展にて、フェアトレード商品の販売とアドボカシー活動を実施。幅広い層にフェアトレードの意義を伝え、子どもたちにも楽しく学べる機会を提供。全商品が完売し、大きな反響を得た。

2024/11/16

支出額 55,490円

8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH 10 REDUCED INEQUALITIES 12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION 17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

医療・衛生支援

2024/6/2 ▶ 継続中

アフガニスタン公衆衛生向上事業

ロガール州ヘサラク村の高校、
Dr. Roshan's Clinic for Children
またはHesarak Clinic for Women

アフガニスタン・イスラム共和国

アフガニスタンは、40年にわたる紛争や経済悪化、地震や干ばつによる食料危機など、深刻な人道危機に直面しています。国連機関の報告によると、アフガニスタンでは国の人口の以上に当たる2370万人*が支援を必要としており、2023年6月30日時点で、322万人*が紛争による国内避難民(IDPs)と推定されています。農村地域では、医療従事者の流出や医薬品不足により必要な医療を提供できない状況にあるとともに学校施設も老朽化が進み、トイレなどの衛生環境が整っていないため、多くの子どもたちが健康リスクを抱えながら学ばなければならない現状にあります。

*UNHCR Afghanistan



ワールド・イン・ピースでは、は現地支援団体「EJAAD」と連携し、学校のトイレ整備と医療施設への支援を進めています。ロガール州ヘサラク村の学校では、約600名の生徒が在籍しているにもかかわらず、6基のトイレしかあらず、中でも老朽化や故障により使用できない状況にあります。そこで、トイレ6基の新設と既存設備の修繕を行い、子どもたちが衛生的な環境で学べるよう整備を進める計画をしています。持続可能な支援を実現させるため、単なる設備整備にとどまらず、衛生意識の向上を目的とした教育プログラムを実施し、清潔な環境を維持するための知識や習慣を地域に根付かせることを目指しています。

今年度は、現地におけるアセスメントや調査で終わったものの、資金が圧倒的に不足していることから、建設を行えないのが現状です。600名の子供達が、安心して学校に通えられるよう皆様の温かいご支援をお待ちしております。

難民支援

2024/12/14 ▶ 継続中

活動地域調整中

パレスチナ・ガザ地区人道支援

パレスチナ・ガザ地区

「天井のない監獄」とも呼ばれるガザ地区では、安全な避難場所も脱出手段もなく、多くの住民が避難生活を強いられています。ガザ市民は食料や水、医薬品の確保に奔走し、日々の生活の中で恐怖に苛まれています。さらに、壊滅的な医療体制や衛生状況により、感染症やその他の健康リスクも深刻化しています。一方で、イスラエル側でも人質問題が続いており、双方の一般市民が武力衝突の影響に苦しんでいます。

この厳しい現状にもかかわらず、多くの団体が「人々の命と尊厳を守る」という使命のもと、人道支援活動を進めています。しかしながら、この危機が続けば、支援の届け先へのアクセスはさらに困難となり、支援が必要な人々の生活や健康が深刻な危機にさらされることが懸念されます。



©Sharek Youth Forum



©Sharek Youth Forum

ワールド・イン・ピースでは、現地の団体と連携して支援を提供する予定です。第一段階の支援では、ガザ地区の子どもたちを対象に心理ケアやレクリエーション活動を通じた心理的サポートを実施する予定です。この支援が完了次第、資金の許す限り継続的な支援を行う予定です。

教育支援

2025/3/27

ダムナック・チャン・アウル村 (Damnak Chang Aeur Village)

コーポーアン島

カンボジア学習支援

カンボジア王国



©Nathan Kou

ワールド・イン・ピースでは、カンボジアで活動しているNathan Kou様とそのチームとのご協力のもと2ヶ所の教育施設において支援を実施しました。

ダムナック・チャン・アウル村に位置するコミュニティ幼稚園に在籍している18名の児童に対して学習材(ノート、ペン、鉛筆、色鉛筆、水筒、ホワイトボードマーカー、鉛筆箱)を詰めたバッグパックを配布しました。さらに、教育環境の改善を図るため、教室内への照明・扇風機の設置を行うとともに教職員のスキル向上を目的とした研修や、教育活動を支えるための現金給付も行いました。

これに加え、カンボジア沖にあるコーポーアン島に位置する唯一の学校でも学習材の支援を行いました。この島では、主に漁業やエコツーリズムで生計を立てている住民が暮らし、島内には27名の児童(5歳~15歳)が通う簡素な学校が1校だけ存在しています。学校には黒板、プラスチック椅子、木製のベッド、トタン屋根の簡易な設備しかなく、教員も小学6年生相当の学歴で、自身の限られた知識を子どもたちに伝えるべく日々努力を重ねています。在校生等には上記と同様に学習教材を詰めたバッグパックを配布しました。

また今回は、クメール正月の時期に合わせて、児童たちが楽しいひとときを過ごせるよう、水鉄砲やお菓子などのプレゼントも特別に用意しました。

※本事業は、ワールド・イン・ピース単独での資金提供によるものではなく、他の支援者のご協力のもと実現したものです。ご支援くださった皆様には心から感謝申し上げます。

コミュニティ支援・災害支援 2024/9/24 ▶ 継続中

石川県能登地方豪雨災害

石川県

今年1月1日の「令和6年能登半島地震」に続き、9月21日に奥能登地方で線状降水帯が発生し、珠洲市や輪島市、能登町などの地域では、大雨による道路の冠水や住宅の浸水、停電・断水が発生し、土砂災害によって一部地域が孤立するなど深刻な被害が広がりました。特に復興が進む中での豪雨により、多くの住民が再び生活基盤を再び失ってしまい、地震からの復興途中にあった住民の多くが、今回の災害でさらなる困難に直面してしまいました。

ワールド・イン・ピースは、現地の支援団体と連携し、被災地のニーズに応じた支援を実施しました。特に、断水が長引く地域では入浴やトイレの使用が困難となり、体拭きや非常用トイレの需要が高まりました。



この状況を受け、**体拭きタオル**については、現地団体が行っている物資配布会などを通じて輪島近郊の深見地区へ**計720枚**を配布しました。また、水洗トイレが使用できないため**非常用トイレ**の使用が必要となり、1日の消費量が多いために不足する地域も出たことから、**計1800回分**を配布しました。

仮設住宅への入居が始まったものの、これまでとは異なる環境での生活を強いられていることから、懸念されるのが、仮設住宅内での孤立や、長引く避難生活によるストレスの蓄積による、不眠や体調不良など健康面への影響です。こうした問題を防ぐためには、住民同士が顔見知りとなり、支え合える関係を築くことが重要であり、コミュニティ交流の場が必要とされています。ワールド・イン・ピースでは、NPO法人CONCENTを通じて、マジックショー、マッサージ、パラコードワークショップなど幅広い年齢層を対象としたイベントの開催に必要な**お菓子や飲み物**といった**備品・消耗品**等を支援しました。

イベント・啓発活動

2024/11/16

日本

フェアトレード商品販売



2024年11月16日に開催されたインターナショナルフェアにおいて、ワールド・イン・ピースはフェアトレード商品の販売とアドボカシー活動を行いました。本イベントでは、コーヒー、チョコレート、紅茶など多様なフェアトレード商品を取り揃え、国際人道支援やフェアトレードの重要性を来場者に伝える機会となりました。子供や若い世代にも関心を持ってもらうために、チョコレートやスタンプラリーを用意し、大人や保護者にはコーヒーや紅茶といった幅広い年齢層に目がつくようにブースを工夫しました。



フェアトレードで有名なトニーズチョコロンリーやわかちあいプロジェクトからのコーヒー、第3世界ショップからの紅茶など幅広い商品を取り揃えました。スタンプラリーでは、チョコレートの生産工程をテーマに、マグネットなどを使った体験型の学習を提供し、来場者にフェアトレードの仕組みや意義を伝える機会となりました。当日は、多くの方々にご来場いただき、**準備した全商品が完売**するほどの大きな反響をいただきました。**10名を超えるボランティアスタッフ**が参加し、子どもから大人まで幅広い年代の方々と交流しながら、フェアトレードがもたらす社会的意義や、ワールド・イン・ピースが目指す未来について直接お伝えする貴重な機会となりました。

災害支援

2025/3/2 ▶ 継続中

岩手県大船渡市山火事

岩手県

岩手県大船渡市で2月26日に発生した大規模な山林火災は、市域の9%にあたる2,900ヘクタール*が消失し、死者1名、住宅被害約102棟が確認され、最大時1,896世帯4,596人に避難指示が出されるなど、地域住民の暮らしに多大な影響を及ぼしました。

大船渡市猪川町にあるプライベートサロン「Harmo」様では、現地でのニーズ調査をもと全国からの支援物資を集約・整理する活動を行われていました。ワールド・イン・ピースは、「Harmo」様の活動と連携し、物資支援の一環として、ニーズのあった**女性用アメニティ（髪ゴム、綿棒など）200個、ヘアブラシ250個、カミソリ200個、レジ袋2000枚**を提供しました。

*朝日新聞



ワールド・イン・ピースとSDGs

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連加盟国193カ国が全会一致で採択した行動計画。貧困や福祉、持続的なまちづくりなど17の目標からなり、2030年までに目標を達成することを目指しています。

ワールド・イン・ピースでは、SDGsが掲げる17の目標のうち、8つに貢献します。



寄付手段の多様化

初年度は、オンラインや募金箱、フェアトレード商品の購入など、さまざまな方法でご支援をいただきました。その結果、想定以上の寄付が集まり、多くの支援を実現できました。しかし、さらなる支援を届けるためには、より多くの資金が必要です。来年度は、物品寄付や相続・香典による寄付など、さらに多様な支援の形を導入予定です。誰もが気軽に参加できる仕組みを整え、支援の輪を広げていきます。

南海トラフ・首都直下型地震における団体の体制づくり

今後30年以内に発生するとされる南海トラフ地震や首都直下型地震。中でも南海トラフ地震は発生確率80%とされ、被害は甚大になると予測されています。こうした未曾有の災害に備え、ワールド・イン・ピースでは、本部機能のネットワーク化や支援体制の強化を進め、迅速な緊急支援を目指しています。

緊急支援の迅速化

初年度の経験から、災害発生後に寄付を募る方法では、支援開始が遅れ、特に重要な初動対応が困難であることが分かりました。こうした課題を受け、ワールド・イン・ピースでは、平時から資金を備える「キャリスタのお財布」の構築を初めています。災害発生と同時に現地のニーズに応じた支援を開始できる仕組みを構築し、命を守る迅速な支援を可能にしています。

ご支援いただいた企業様・団体様

アートエキジビションや募金箱設置を通じたご支援

MAY6TH

THE CAKE BOUTIQUE

SHARKY IN REAL WORLDとMay 6thのコラボエキジビションでは、オリジナルキャラクター「シャーキー」の世界観を活かした空間で、アート展示やグッズ販売、カフェ体験などを通じて来場者に特別なひとときを提供しました。また、グッズの売上は全額をワールド・イン・ピースへのご寄付としてご提供いただき、活動のさらなる推進につながりました。

大船渡市で発生した山林火災に際しては、天王寺店・なんばマルイ店にて募金箱を設置していただき、ご協力いただいた方々にはキャンドルなどの心温まるプレゼントもご用意いただきました。

初年度ながら、こうした多方面からのご支援をいただけたことに深く感謝申し上げます

募金箱設置を通じたご支援		フェアトレード商品をご子達へのお土産に
ナカシマ 歯科	韓国キンパ専門店 キンパプラスアンド	Seven Seas Academy
 ナカシマ歯科 NAKASHIMA DENTAL 大船渡市で発生した山林火災の緊急支援活動の募金活動に際して、クリニックにおいて募金箱を設置する形でご支援いただきました。地域医療に携わるナカシマ歯科様のご協力により、患者様や地域の方々が支援活動に参加することができ、多くの方々にご支援いただきました。	 KOREAN KIMBAB 김밥 Plus 大船渡市で発生した山林火災の緊急支援活動の募金活動に際して、店舗において募金箱を設置する形でご支援いただきました。店舗を訪れるお客様にも積極的に支援活動に参加していただき、支援の輪を広げる重要な一歩となりました。	 SEVEN SEAS ACADEMY Seven Seas Academyでは、バイリンガルの高校生・大学生が英語環境の中で子どもたちと楽しく学ぶ活動を行っています。その中で、おやつやお土産として当団体のフェアトレード商品をご活用いただき、特に障がいのあるアーティストがデザインしたチョコレートのパッケージに、子どもたちが関心を寄せていました。フェアトレード活動へのご協力に感謝申し上げます。

ワールド・イン・ピースの『若い世代が主体となり、多様な社会課題に挑む行動を通じて、持続可能な世界平和を実現する』という理念に共感いただいた多くの企業や団体の皆様からのご寄付・ご支援を賜りました。皆様のお力添えにより、世界各地での活動が実現しています。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。今後も、より大きなインパクトを生み出し、持続可能な支援を届けるため、企業や団体の皆様と連携を深めながら、目指す未来の実現に向けて取り組んでまいります。

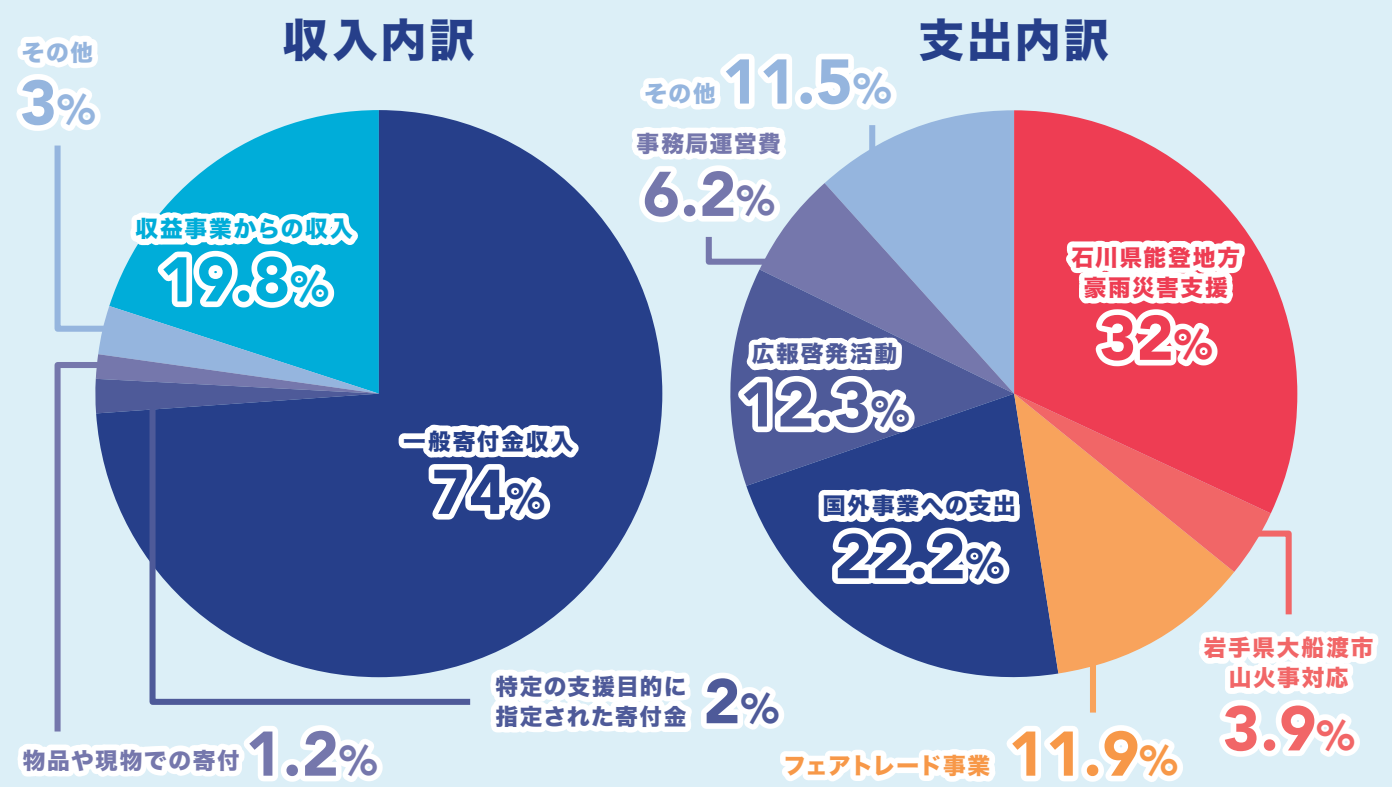
財務報告

2024年度の総収入は727,907円となり、活動資金として多くのご支援をいただきました。

主な収益源は一般寄付金収入 (538,416円) であり、特定の支援目的に指定された寄付金 (15,008円)、物品や現物での寄付 (8,843円)、その他の収入 (22,040円)、および収益事業からの収入 (143,600円) が続きました。一般寄付金は用途の指定がなく、幅広い事業において活用することができました。

一方、総支出は466,129円となり、国内外での支援活動や運営に充てられました。

国内における事業の支出は全体の47.8%を占めており、石川県能登地方豪雨災害支援 (148,948円)、岩手県大船渡市の山火事対応 (18,245円)、フェアトレード事業 (55,490円) などが含まれます。これに対し、カンボジアでの学習支援事業をはじめとする国外事業への支出は全体の22.2%を占め、国際的な支援活動にも力を入れています。また、広報啓発活動 (57,375円)、事務局運営費 (28,965円)、その他の支出 (53,610円) も計上されました。



科目	金額	科目	金額
【A】経常収益		【C】経常外収益	
①受取会費	0	経常外収益計	0
②受取寄付金	562,267	【D】経常外費用	0
③事業収益	143,600	経常外費用計	
④その他収益	22,040	当期経常外増減額【C】-【D】=②	0
経常収益合計	727,907	税引前当期正味財産増減額 ①+②=③	261,778
【B】経常費用		法人税、住民税及び事業税④	
①事業費用	378,184	前期繰越正味財産額⑤	
(1)人件費	0	次期繰越正味財産額 ③-④+⑤	261,778
(2)その他経費	378,184		
②管理費	87,945		
(1)人件費	23,000		
(2)その他経費	64,945		
経常費用合計	466,129		
当期経常増減額【A】-【B】=①	261,778		

※活動計算書と貸借対照表の全文は、当団体のHPで閲覧可能です。

ご支援の方法

私たちの活動は、皆さまのご寄付によって支えられています。

ワールドチェンジャー（継続的なご支援）

毎月の定額寄付で、ワールド・イン・ピースとともに困難に直面する人々へ迅速かつ継続的な支援を届けられます。

クレジットカード

今回のみ寄付

ご支援いただける際に、自由に寄付額・事業を選択できるプログラムです。

クレジットカード

Apple Pay / Google Pay

銀行振込

銀行振込 三井住友銀行 高槻支店（普）3194838 World in Peace ワールドインピース

*銀行振込では、ご寄付者を特定できない為、お手数ですが、領収書がご入用の場合はホームページの【寄付領収証申込フォーム】からお問い合わせください。

あなたのご支援が、未来を変える力になります。お申し込みはホームページから。



詳しい情報は、こちらからご覧ください

https://www.wipeace.org/support_/

企業・団体として支援

企業や団体の皆さまには、寄付、募金箱の設置、共同プロジェクトなど、企業・団体の特性や社員のスキルを活かして、社会貢献に参加できる多彩な方法がございます。御社に最適な形で社会へ貢献しませんか？



詳しい情報は、こちらからご覧ください

<https://www.wipeace.org/group/>

*ワールドインピースへのご寄付は、税制優遇の対象外となります。あらかじめご了承ください。



World in Peace / WiP ワールド・イン・ピース

TEL: **080-1467-5184** (代表)

E-mail: info@wipeace.org

※オフィスの所在地につきましては、メールにてお問い合わせください。



ワールド・イン・ピース 検索

<https://www.wipeace.org/>



Instagram

@worldinpeacejapan

法人番号 9700150126945

法人格 法人格なし（人格なき社団／任意団体）

設立 2024年5月16日

代表 Lu He Rikuto (Hibi) Hong

副代表 岩城友佳

事務局長 山口 キセナキス あめり